

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	杜のつぐみ療育園 新田東園		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 10日		2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に沿って支援をすすめられていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別の個人ファイルの表紙に現在の個別支援計画内容と具体的に行うことを貼り付けており毎回支援担当者が確認できるようになっている。</li> <li>・ 上記の行う内容のわきに正の字で取り組んだ回数を書き込み確実に実施している。</li> </ul>	放デイの児童に行っている「三か月評価」を児発にも導入し、内容の精査や具体的に行うことへの変更等を話しあう。
2	小集団と個別があること。	放デイと時間が重なることがあるため、送迎を組む時や支援担当を決める時によく考えて決定している。	ニーズに沿った対応ができるように聞き取りや状況把握に努める。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	毎月放課後デイの児童と共に避難訓練を行っているが、児発は個別支援が多いことがあり児発での避難訓練は出来ていなかった。(児発小集団の児童とは一度行った。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難訓練の計画時点でそもそも個別支援の児発児童を対象として考えていなかった。</li> <li>・ 開所以来放デイと避難訓練を行ってきたため、児発と共に行うということが念頭になかった。</li> </ul>	時間帯もあるため、全ての児童を対象にすることは難しいが、個別支援の児童も含めた避難訓練計画を作成して実行する。
2	特性の強い児童の対応について、その児童の拒否もあり全ての職員が対応できる状況ではなく業務の偏りやシフト作成まで影響があること。	・ 職員の能力の差もあるが児童との相性もあるため。	・ 無理に意図しない職員との関りを促しても良い影響が無いと考える為、遊びの時間や機嫌のよい時などに軽く関わってもらい少しずつ時間をかけて慣れてもらう。
3			